

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/11/04

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	37.98	0.18
JPY/THB	0.2561	0.0010
USD/JPY	148.26	0.36
EUR/THB	37.02	-0.08
EUR/USD	0.9749	-0.0069
USD/CNH	7.332	-0.011
SGD/THB	26.71	0.04
AUD/THB	23.89	-0.12
USD/INR	82.89	0.11
USD Index	112.93	1.59

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.687	0.004
10Y (THB)	3.186	-0.014
5Y (USD)	4.368	0.058
10Y (USD)	4.147	0.046

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,630.9	-19.1
WTI (Oil)	88.17	-1.83
Copper	7,561.0	-65.5

Stock

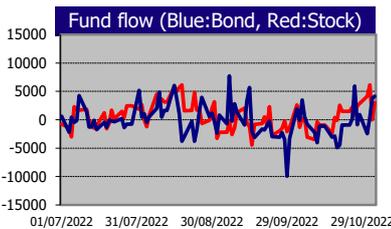
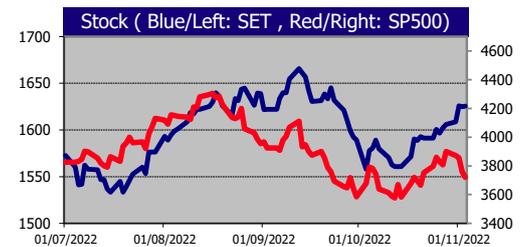
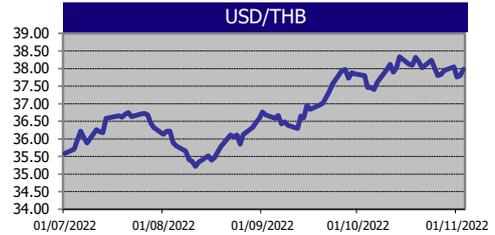
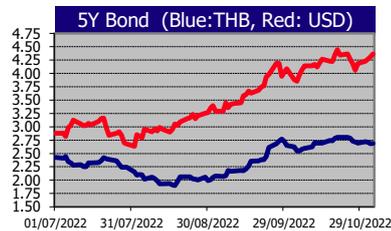
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,625.62	0.60
NIKKEI (JP)	27,663.39	0.00
DOW (US)	32,001.25	-146.51
S&P500 (US)	3,719.89	-39.80
SHCOMP (CN)	2,997.81	-5.56
DAX(GER)	13,130.19	-126.55

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	3,029	3003.0
Bond net flow	4,129	324.9

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上昇した。37パーツ台後半でスタートしたドルパーツは、同日バンコク時間早朝に実施されたFOMC後のパウエルFRB議長の会見を受け、ドル買い優勢の地合いとなる中、底堅く推移。海外時間に入り、米金利の上昇も一旦の落ち着きを見せ、チャヤワディー・タイ中銀副総裁からの「米国の利上げ決定後にタイ資本市場に短期的なボラティリティがあった」としながらも、「タイ中銀はパーツの動きを注意深く監視して」おり、「タイ中銀はFRBの利上げの影響に対処するだろう」という声明が伝わる中、ドルパーツは38ちょうど付近まで上昇した後、同水準でのレンジ推移に。結局そのまま37.98レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅に上昇した。昨日のドル円は東京休日となる中、147円台後半でスタート。序盤、北朝鮮のミサイル発射の報道を受け円買いが先行する中、ドル円は147円台前半まで下落。ただ、海外時間に入ると、米金利の堅調な推移を横目にドル円も148円台半ばまで急上昇。その後はタカ派な米金融当局のスタンスを受けたドル買いとクロス円の下落に挟まれつつ、147円台半ばから148円台前半での推移が継続。結局148.26レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

11月2日FOMCで市場予想通りとなる75bp利上げが実施された。FOMC声明文で新たに金融政策の「累積的な引き締め効果」や「インフレに与える影響の遅効性」等が示された。また、パウエルFRB議長は記者会見で、早ければ次回12月もしくは、その次の会合かもしれないと述べ、利上げペース減速の観測が高まっている。一方、9月米求人件数は、市場予想に反して増加する等米労働市場の堅調さが示された。インフレ抑制に対する金融政策引き締めが継続され、利上げ局面の長期化により、深刻なリセッションが起こり得るとの懸念が広がっている。雇用統計を前に米国株は4日続落となり、米国債利回りは上昇、2年債と10年債の逆イールドが一段と広がった。FRBが、利上げペースについて、低速ギアへのシフトを予想以上に断定的に示したことで、対主要通貨でドル高の流れは一旦落ち着くものと予想される。本日米国時間発表の米10月雇用統計では、非農業部門雇用数が19万8000人増(前月26万3000人増)と、減速しながらも堅調なペースを維持すると予想されており、注視する必要がある。(前川)